

# 鉄筋・左官の二業種同時作業体験！！

～新潟県立荒川高等学校2年生へ建設産業の魅力を伝えました～

普段、良く目にする道路や家の建築といった工事の現場。

だけど「中では何が？」「どんな仕事をしているの？」と中身が気になる、そんな工事現場の最前線で働く“建設業”の職人さんとともに、6月28日(水)に「新潟県立荒川高等学校2年生」の総合学習の時間をお借りして、建設産業の魅力を伝える「出前講座」を開催しました。

当日は、「知ることができた」だけではなく「やってみて分かった！」を目的に、

- 建設産業専門団体連合会（建専連：けんせんれん）
- 新潟県左官業協同組合
- 新潟県鉄筋業協同組合青年部

のカッコイイ職人さんの実演、手ほどきによる〈生徒さん自らの体験〉を中心とした

“鉄筋工事業”・“左官工事業”の二業種同時作業体験といった初プログラムで行いました。

- ◇ 鉄筋の結束（鉄の棒と鉄の棒を細い針金で結ぶこと）を体験した生徒さん（男子）からは「鉄筋は重いので力も必要だけど、結束作業は何よりも器用さが大切」との感想を
- ◇ 左官の塗り壁体験をした生徒さん（女子）は「塗り壁作業は初体験。建設業は力仕事を中心と思っていたけど、（壁塗りは）繊細さが求められるので女性でもできる」



新潟県左官業協同組合理事長自らの手ほどきに職人の技を実感



‘もこもこ’している服は「熱中症対策」の風を送るファン付きの作業服。涼しいだそうです。

などなど、体験してみなければ分からない気づきがあちらこちらで聞こえてきました。

実際に手ほどきしてくれた職人さんからは「上手だねえ。」と即戦力になれそうな褒め言葉も飛び出すなど、活気に満ちた時間を過ごせました。座学では「左官業は1000年の歴史ある職種。機械化が出来ない産業」「鉄筋はほとんど全ての現場で使われており、人間でいうなら骨に当たるものでとても重要」といった説明に、生徒さんは真剣に耳を傾けてました。教頭先生から「次回も是非」とのお言葉も頂き、引き続き活動していくことの使命感を得られた、貴重な時間となりました。

「我が校でも是非っ」という御連絡、お待ちしております。

★ お問い合わせは↓こちらから ★

<http://www.hrr.ml.it.go.jp/kensei/sangyo/ninaitekakuho/01%20top/01-01%20ninaitetop.html>